



KENMEI GAKUIN

2022年度 事業報告書

学校法人賢明学院

賢明学院高等学校 全日制課程

賢明学院高等学校 通信制課程

賢明学院中学校

賢明学院小学校

賢明学院幼稚園

目 次

法人の概要

◆建学の精神	・・・	2
◆設置者並びに設置する学校	・・・	3
◆役 員	・・・	3
◆評議員	・・・	4
◆沿 革	・・・	5
◆歴代理事長・学院長・園長・校長	・・・	6
◆設置するコース及び授業料等納付金	・・・	7
◆教員数並びに生徒・児童・園児数一覧	・・・	8
◆組織図	・・・	9
◆関西学院大学との協定と関西学院大学特進サイエンスコースの設置	・・・	10

事業の概要

◆事業計画についての実施状況報告		
2022年度事業実績及び2023年度事業の概要	・・・	12

財務の概要

◆計算書類についての概要	・・・	13
--------------	-----	----

2022年度計算書類

◆資金収支計算書 (資金収支内訳表含む)	・・・	14
◆事業活動収支計算書 (事業活動収支内訳表含む)	・・・	15
◆貸借対照表	・・・	16
◆財産目録	・・・	17
◆財務分析	・・・	18

2022年度監査報告

◆監事による監査報告書の写し	・・・	19
----------------	-----	----

＜法人の概要＞

◆建学の精神

キリスト教的人間観・世界観と一人ひとりの人格を何よりも尊重する。

創立者マリー・リヴィエの教育精神を継承し、世界の平和と発展に自ら貢献できる人間を育成する。

＜創立者：聖マリー・リヴィエ＞

1768年 12月 モンプザ（仏）にて生誕

1795年 11月 サン・スルピス会 ポンタニエ神父よりAM（AVE MARIA）の
印章を拝領 修道院のシンボルとする

1796年 11月 聖母奉献修道会創立

1838年 2月 ブール・セント・アンデオールにて帰天

1982年 5月 教皇ヨハネ・パウロ2世より列福

2022年 5月 教皇フランシスコより列聖

◆マリー・リヴィエの肖像



◆AM（アヴェ・マリア）をあしらった賢明学院の校章



◆設置者並びに設置する学校

設置者：学校法人賢明学院

代表者：理事長 高畠 政行

所在地：大阪府堺市堺区霞ヶ丘町四丁 3-30

(連絡先：法人事務局 電話 072 - 243 - 8001)

設置する学校：以下の4校

学校名	所在地及び連絡先	
賢明学院高等学校	大阪府堺市堺区霞ヶ丘町四丁 3-30	電話 072 - 241 - 1679
賢明学院中学校	大阪府堺市堺区霞ヶ丘町四丁 3-30	電話 072 - 241 - 1679
賢明学院小学校	大阪府堺市堺区霞ヶ丘町四丁 3-27	電話 072 - 241 - 2657
賢明学院幼稚園	大阪府堺市堺区霞ヶ丘町四丁 1-9	電話 072 - 241 - 5605

※高等学校は全日制課程と通信制課程を併設する

◆役員（任期：2023年6月30日）

区 分	氏 名 (常勤・非常勤の別)	選任区分：役職等
理事長	高畠 政行 (非)	2号：カトリック大阪大司教区主任司祭
副理事長	大原 正義 (非)	3号：賢明学院中学高等学校前校長
理 事	石森 圭一 (常)	1号：賢明学院中学高等学校校長
	板東 正 (常)	1号：賢明学院小学校校長
	渡邊 泰夫 (常)	3号：賢明学院中学高等学校副校長
	鎌田 博道 (常)	3号：学校法人賢明学院法人事務局局长
	中西 美繪 (非)	2号：聖母奉献修道会日本地区長
	別城信太郎 (非)	4号：弁護士
	小菅 正伸 (非)	4号：関西学院大学副学長
	富田 宏治 (非)	4号：関西学院大学副学長
監 事	板戸 史朗 (非)	公認会計士 元学校法人関西学院内部監査室長
	塚本 修志 (非)	社会保険労務士

◆評議員（任期：２０２３年６月３０日）

選出区分	氏 名 等	
１号評議員	石森 圭一	中学高等学校校長
	板東 正	小学校校長
	北口 朝美	幼稚園園長
２号評議員	中山 喜人	評議員会選任（小学校教頭）
	富未 豪	評議員会選任（中学高等学校教頭）
	長瀬 達也	評議員会選任（高等学校通信制課程教頭）
	安達 貞夫	評議員会選任（小学校教頭補佐）
３号評議員	廣畑 顕一	小学校卒業生
	藤木 利典	小学校卒業生（前同窓会会長・元保護者会会長）
	喜代田 洋志	小学校卒業生・小学校保護者・保護者会会長
	久保 善見	小学校保護者（保護者会顧問・元保護者会会長）
	岸村 美千代	小学校・中学校・高等学校卒業生
	比嘉 泰江	中学校・高等学校卒業生
４号評議員	高畠 政行	理事の互選
	中西 美繪	理事の互選
	小菅 正伸	理事の互選
	富田 宏治	理事の互選
５号評議員	別城 信太郎	学識経験者・宗教関係者
	大原 正義	学識経験者・宗教関係者
	渡邊 泰夫	学識経験者・宗教関係者
	鎌田 博道	学識経験者・宗教関係者
	谷村 信次	学識経験者・宗教関係者
	秋田 みゑ子	学識経験者・宗教関係者

◆沿革

1948年	6月	カナダから修道女来日 聖母奉献修道会日本地区本部設立
1951年	10月	アベノ・カトリック幼稚園設置認可
1954年	7月	霞ヶ丘カトリック幼稚園設置認可
1955年	4月	宗教法人から学校法人賢明学院に組織変更認可
1959年	9月	賢明学院小学校設置認可
1960年	4月	小学校校舎落成祝別式举行
1962年	10月	第1回交歓バザー開催
1964年	9月	園名を賢明学院幼稚園と改称
1966年	2月	賢明学院中学校設置認可
1970年	11月	賢明学院体育館兼講堂落成祝別式
1980年	11月	学院チャペル・リヴィエ・メモリアル落成 マリー・リヴィエ胸像除幕式
1983年	5月	小学校「つけものデー」を全校実施
1994年	6月	新築幼稚園舎落成
2006年	11月	学院創立50周年記念式典举行
2007年	3月	学院リヴィエ・ホール竣工
2010年	4月	中学校・高等学校を男女共学とする
2012年	8月	中学サッカー部、府大会・近畿大会優勝 全国大会出場（初）
2014年	8月	中学サッカー部 府大会を連覇し全国大会出場決定（2年連続）
	11月	創立60周年記念式典举行（於オリックスホール）
2016年	4月	高等学校通信制課程開設
2019年	7月	高等学校、関西学院大学の系属校となる
2020年	4月	高等学校全日制に関西学院大学特進サイエンスコース設置
2021年	4月	中学校に関西学院理数コース設置
2022年	6月	シャローム広場モニュメント落成（関西学院大学建築学部八木教授設計）
2023年	4月	関西学院大学特進サイエンスコースⅠ期生が関西学院大学に入学



◆歴代理事長・園長・校長

歴代理事長

初代	S r.	ティオデュール	1955年から
2代	S r.	崎間 妙	1982年から
3代	S r.	松田 郁子	1984年から
4代	S r.	中西 美繪	2007年から
5代	F r.	高畠 政行	2020年から

歴代幼稚園園長

初代	シスター	マリー・テレズ	1954年から
2代	シスター	フランシス	1955年から
3代	シスター	アドレアン・マリー	1957年から
4代	シスター	小野 友子	1961年から
5代	シスター	八杉 悦子	1970年から
6代	シスター	鈴木 文子	1989年から
7代	亀谷	和廣	2005年から
8代	留田	久美子	2007年から
9代	岩坂	智美	2009年から
10代	篠原	康二	2015年から
11代	中原	道夫	2018年から
12代	矢野	哲二	2021年から
13代	北口	朝美	2022年から

歴代小学校校長

初代	シスター	アドレアン・マリー	1960年から
2代	シスター	エヴェリン・ウエストマン	1969年から
3代	シスター	山本 照子	1971年から
4代	シスター	松田 郁子	1994年から
5代	中辻	武一	1998年から
6代	兼田	久廣	2001年から
7代	亀谷	和廣	2004年から
8代	目黒	摩天雄	2010年から
9代	篠原	康二	2012年から
10代	南	登章生	2015年から
11代	北村	昌江	2016年から
12代	中原	道夫	2018年から
13代	大原	正義	2021年4月から
14代	板東	正	2021年5月から

歴代中学高等学校校長

初代	中学校校長	シスター アドレアン・マリー	1966年から
初代	高等学校校長	シスター 松田 郁子	1969年から
2代	中学校校長	シスター 松田 郁子	1969年から
3代	中学高等学校校長	シスター 佐藤 恭子	1979年から
4代		シスター 中西 美繪	1995年から
5代		シスター 秋田 みゑ子	1998年から
6代		篠原 康二	2006年から
7代		南 登章生	2012年から
8代		大原 正義	2015年から
9代		石森 圭一	2022年から

◆設置するコース（2023年度の募集コース）

学校名	コース名	コースの概要
賢明学院高等学校	関西学院大学特進サイエンスコース	関西学院大学の理工系学部と連携して、理学部、工学部、生命環境学部、工学部に進学を目指すコース
	特進エグゼコース	国公立大、難関私立大学、医歯薬系などを目指す選抜コース
	特進コース	有名私立大や保育、医療、看護など多様な進路に対応するコース
賢明学院中学校	関西学院理数コース	関西学院大学特進サイエンスコースへの優先入学が可能なコース
	総合コース	基礎学力の定着を目指すコース

◆授業料等納付金（2022年度授業料年額）

	幼稚園	小学校	中学校	高等学校全日	高等学校通信
検 定 料	5,000	20,000	20,000	20,000	10,000
入 学 金	65,000	200,000	250,000	250,000	200,000
授業料(保育料)	300,000	588,000	588,000	588,000	(1単位の単価) 10,000
教育充実費	42,000	42,000	0	42,000 ※関学コースのみ	0
施設設備拡充費	0	60,000	55,500	55,500	55,500

※修学旅行積立金や教材費等の諸費用については別途徴収している。

※中学校及び高等学校全日制課程は、2023年度入試において、大阪府を除く近畿1府4県（和歌山・兵庫・奈良・滋賀・京都）在住者の入学検定料を免除する。

◆教員数並びに生徒・児童・園児数一覧

２０２２年度の教員及び生徒・児童・園児の在籍数は下表の通りである。

教職員数

	法人本部	幼稚園	小学校	中学校	高等学校 全日制	高等学校 通信制	合 計
本務教員	０名	１６名	２４名	１９名	４０名	８名	１０７名
兼務教員	０名	７名	９名	４名	１４名	１名	３５名
本務職員	０名	１名	３名	３名	８名	０名	１５名
兼務職員	２名	２名	６名	２名	３名	０名	１５名
合 計	２名	２６名	４２名	２８名	６５名	９名	１７２名

※５月１日時点の実数

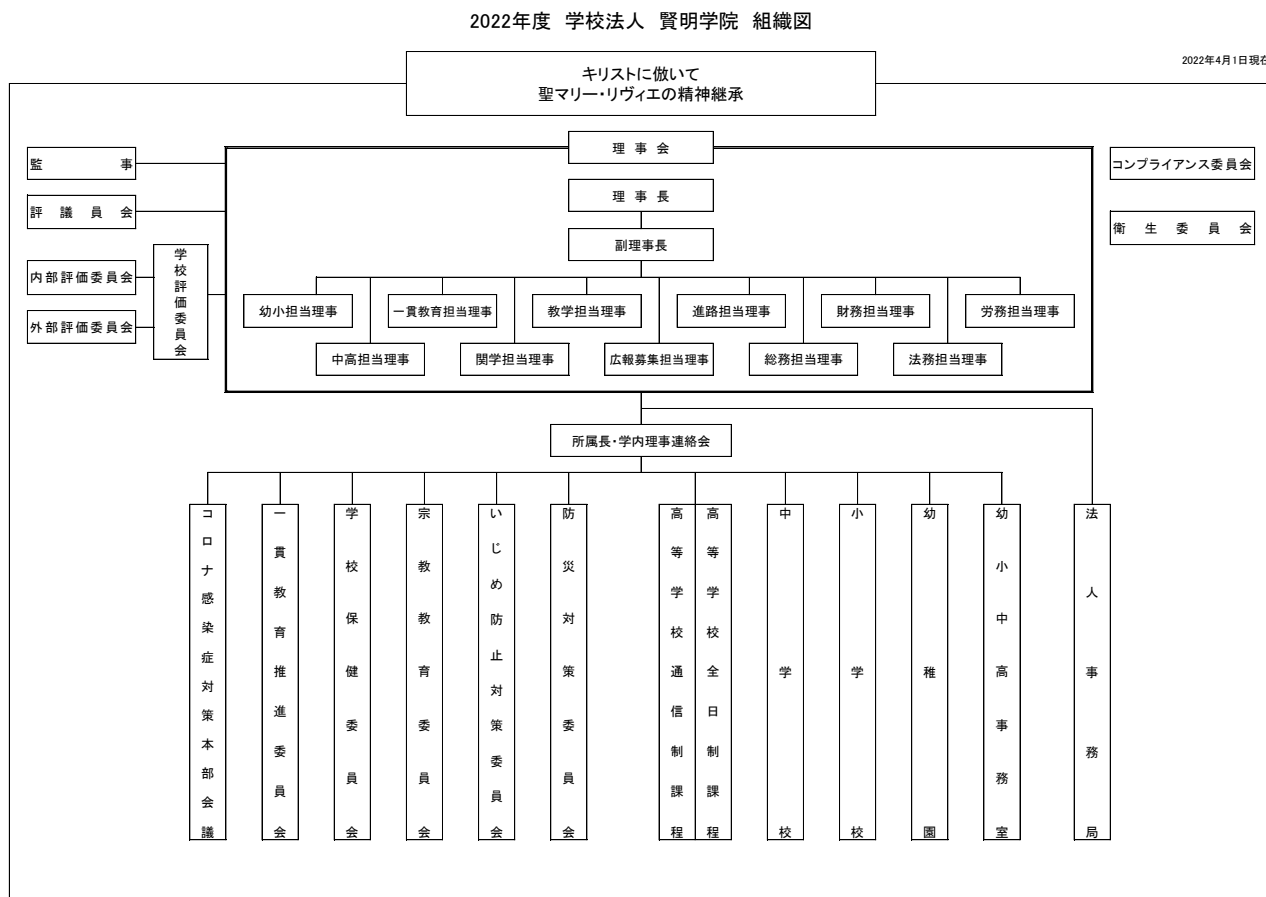
生徒数・児童数・園児数

	幼稚園	小学校	中学校	高等全日	高等通信	合 計
満３歳児	１９名	—	—	—	—	１９名
１年次 (３歳児)	３６名	３４名	６９名	１６１名	６１名	３６１名
２年次 (４歳児)	４２名	４４名	３７名	１３３名	６１名	３１７名
３年次 (５歳児)	５０名	３３名	５７名	１３９名	３４名	３１３名
４年次	—	５１名	—	—	—	５１名
５年次	—	５６名	—	—	—	５６名
６年次	—	６４名	—	—	—	６４名
合 計	１４７名	２８２名	１６３名	４３３名	１５６名	１１８１名

※満３歳児は １月１日時点の在籍数

※通信制課程は３月１日時点の在籍数

◆組 織 図



<新型コロナウイルス感染症対策本部会議の設置>

2021年度より、学院内で新型コロナウイルスに関する対応を統一するため、理事長を委員長とする新型コロナウイルス感染症対策本部会議を設置。毎週月曜日に会議を開き、状況報告と対策について慎重に議論し対応を行っている。

<理事会の組織変更>

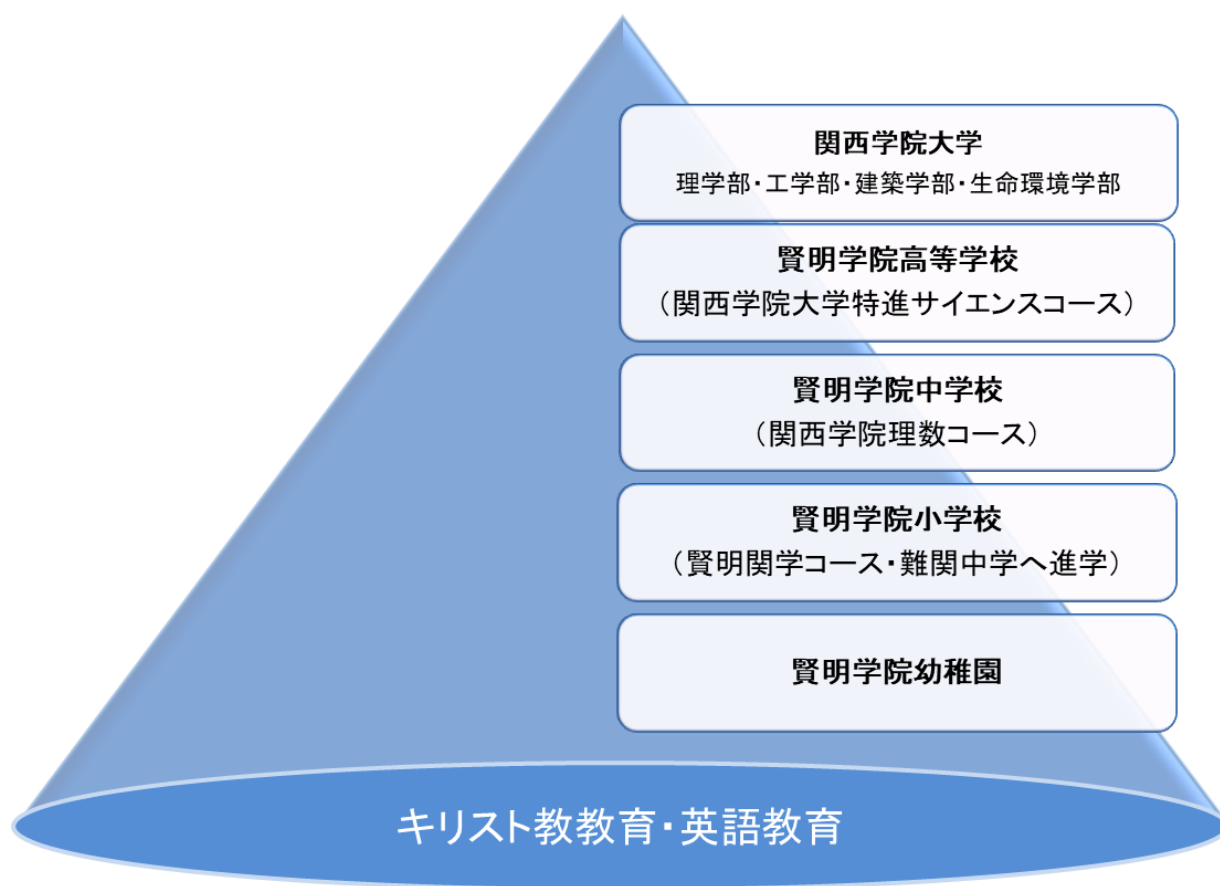
2022年度より副理事長をおく。

◆関西学院大学との協定と関西学院大学特進サイエンスコースの設置について

2019年7月18日、賢明学院中学高等学校は関西学院大学と「推薦入学制度等に関する協定」を締結し、関西学院大学の系属校となった。この協定は、本校の校訓である「祈る・学ぶ・奉仕する」と、関西学院大学のスクールモットーである「**Mastery for Service**（奉仕の為の練達）」が実質的に一致することから、カトリックとプロテスタントという枠組みを超えて社会に貢献する人材育成を行うことができるとの双方の判断によって実現したものである。

高等学校が設置する関西学院大学特進サイエンスコース（定員70名）は、校内の基準をクリアすれば関西学院大学の理工系学部（※）へ進学することが可能となるコースである。このコースでは、理数教育に力を入れるのはもちろん、将来の研究者を志す生徒自らが課題を見つけ、それを解決するための力を養うためのカリキュラムを設けている。具体的には、高校在学中に問題意識のある分野について、『プレ卒論』を作成することで、大学入学後の研究をいっそう深いものにする。さらに、科学に携わる者にとって英語力は必須であることから、全員が英検2級レベルの習得ができるように指導していく。

また、中学校の関西学院理数コースは、高等学校の関西学院大学特進サイエンスコースへの入学を第一目標としているため、理数や英語だけでなく探求活動にも積極的に取り組む。このコースへの入学者は関西学院大学特進サイエンスコースに優先的に入学できるので、中学時代から幅広い学びを追求することが出来るコースとなっている。



<関西学院大学 上ヶ原キャンパス>



<関西学院大学三田キャンパス>



＜事業の概要＞

◆ 2022年度計画と2022年度実績の概要

		2022年度計画	年度実績
教学	幼稚園	・モンテッソーリ子どもの家への教員派遣 ・英語カリキュラムをオックスフォード式に変更（小学校と統一） ・2023年度より体操服をアディダスに変更	・モンテッソーリ子どもの家へ教員1名を派遣。2023年度も1名派遣予定。 ・2023年度より英検受験カリキュラム開始 ・体操服の伸縮性、吸水性等向上のため、年少児よりアディダスに変更
	小学校	・関西学院大学との連携授業（JAXA・航空宇宙関係を予定） ・社会福祉法人ゆめらんど二田と連携教育に関する提携を締結	・社会福祉法人ゆめらんど二田と連携教育に関する提携を締結し、全園児による小学校見学を実施 ・2023年度に学校法人ザビエル会と同様の提携を締結する見込み
	中高	＜関西学院大学との連携教育＞ ・中学生三田キャンパス見学 ・関学コースⅡ期生によるAP科目開始 ・通信制課程、聖和キャンパス、上ヶ原キャンパス見学 ・関学コース1期生による研究発表（関西学院大学三田キャンパス） ・第1回カリフォルニア大学アーバイン校での研究体験留学（関西学院大学特進サイエンスコース対象） ・高2生総合社会（SDGs）学習開始	＜関西学院大学との連携教育＞ ・関西学院大学合格者 全日26名（うち関学コース18名） 通信 1名 ・在校生、保護者向 AP 科目発表会の実施
広報	学院	・Web 広告（Google Facebook Line 等） ・和歌山県、奈良県への広報強化（大阪府を除く近畿1府4県からの受験生の受験料の免除）	・YouTube の学校説明会案内動画が 5.7 万回再生されるなど、SNS が認知拡大に貢献している。 ・兵庫県からの受験あり。2024年度は、和歌山、奈良からの受験生の増加を目指す。
組織	学院	・副理事長の設置 ・関西学院高等部より石森校長招聘 ・コロナ対策本部の設定	・大原副理事長就任 ・中高石森校長就任 ・コンプライアンス委員会、いじめ防止対策委員会の体制強化
施設設備	中高	・化学室改修2期工事 ・部室棟の改修 ・関西学院大学建築学部の協力によるシャローム広場の改修 ・体育館修繕 ・人工芝グラウンドの補修	・化学教室、準備室の改修完了 ・中高体育館部室棟一期工事完了 ・2023年度夏に二期工事を予定 ・関学建築学部八木教授設計により卒業記念品としてモニュメントを設置 ・体育館及び人工芝の一部改修終了
	小学校	・英語関連書籍の充実 ・防犯システムの導入	・図書室に英語図書コーナーを設置 ・半導体不足により防犯システムを再検討
	幼稚園	・遊戯室新築計画の作成	・2024年度より、手洗い等の設備拡充を順次実施 ・遊戯室計画延期
財務	学院	・学納金改定計画の作成	・幼稚園は2024年度の認定こども園化により全面改訂を実施 ・通信制課程入学金の値上げを協議中

2022年度 財務の概要

◆計算書類について

資金収支計算書（資金収支内訳表含む）

資金収支計算書は、収入・支出の内容を明らかにするとともに、その収支を予算と比較する事で、教育活動が計画通り円滑に行われたかどうかを財務的観点から検証するものである。また、運転資金を意味する「支払資金」について、前年度繰越額から次年度繰越額に至る経緯を示す事も目的の一つであるため、後述する事業活動収支計算書と異なり、借入による収入や、固定資産購入等による支出も含まれる。企業会計におけるキャッシュフロー計算書に近い財務諸表である。

事業活動収支計算書（事業活動収支内訳表含む）

事業活動収支計算書は資産やサービスの消費額である事業活動支出と、その填補に充当できる事業活動収入を対比して、両者の均衡の状態を明らかにするためのものである。純資産の増減を伴うものについて事業活動収入及び支出とするため、純資産額が変化しない借入による収入や、固定資産の購入による支出等は含まない。企業会計における損益計算書に類似するものであるが、基本金組入額を基本金組入前収支差額から控除して基本金組入後収支差額を計算するなど、学校会計独自の記載を含む。

貸借対照表

貸借対照表は年度末における学校法人の財政状態を明確化する計算書類である。企業会計では、流動資産から順に明示する流動性配列法が一般的であるが、学校法人においては校地や校舎などの固定資産が重要である為、固定資産から配列する固定性配列法をとっている。

財産目録

財産の内訳を明示している。これに示した3月31日時点の純資産額は、組合等登記令等法令の定めるところにより、6月末日までに登記を行っている。

財務分析

公開している計算書類をもとに、財務内容について本学院独自に分析したものである。

◆ 資金収支計算書(資金収支内訳表含む)

自 2022年 4月 1日
至 2023年 3月31日

学校法人賢明学院
(単位:千円)

収入の部

科 目	2022年度当初予算	2022年度実績					
	学院合計 (法人本部含)	学院合計 (法人本部含)	高 校 (全日制)	高 校 (通信制)	中 学	小学校	幼稚園
学生生徒納付金収入	639,478	652,138	227,313	60,260	122,388	192,854	49,324
手数料収入	7,288	7,212	3,288	554	2,040	1,080	250
寄付金収入	3,500	15,099	10,365	270	525	1,404	375
補助金収入	453,910	449,854	255,768	20,123	50,830	72,837	50,297
資産運用収入	0	0	0	0	0	0	0
固定資産売却収入	0	0	0	0	0	0	0
付随事業・収益事業収入	10,500	10,813	834	1	182	0	7,525
受取利息・配当金収入	30	6	0	0	0	0	0
雑収入	36,097	41,137	3,413	49	19,175	14,033	2,548
小 計	1,150,803	1,176,259	500,981	81,257	195,140	282,208	110,319
借入金収入	350,000	864,500					
前受金収入	67,875	51,520					
その他の収入	147,993	293,301					
資金収入調整勘定	-96,003	-102,503					
前年度繰越支払資金	50,000	28,031					
収入の部 合計	1,670,668	2,311,108					

支出の部

科 目	2022年度当初予算	2022年度実績					
	学院合計 (法人本部含)	学院合計 (法人本部含)	高 校 (全日制)	高 校 (通信制)	中 学	小学校	幼稚園
人件費支出	1,042,420	1,043,871	430,995	73,993	201,738	232,628	97,069
教育研究経費支出	196,832	209,205	91,594	15,031	29,341	61,484	11,755
管理経費支出	39,500	42,205	13,530	2,704	3,971	2,121	4,303
施設関係支出	12,211	30,118	19,899	0	9,449	770	0
設備関係支出	3,146	9,176	2,164	0	2,207	4,698	107
小 計	1,294,109	1,334,575	558,182	91,728	246,706	301,701	113,234
借入金関係支出	310,280	782,475	-57,201	-10,471	-51,566	-19,493	-2,915
借入金等利息支出	800	1,405					
借入金返済支出	309,480	781,070					
資産運用支出	500	51,849					
減価償却引当特定資産への繰入支出	0	1					
期成会事業引当特定資産への繰入支出	0	1,660					
その他の引当特定資産への繰入支出	500	50,188					
その他の支出	71,831	109,336					
予備費	0	0					
資金支出調整勘定	-39,635	-50,772					
次年度繰越支払資金	33,583	83,645					
支出の部 合計	1,670,668	2,311,108					

◆ 事業活動収支計算書(事業活動収支内訳表含む)

自 2022年 4月 1日
至 2023年 3月31日

学校法人賢明学院
(単位:千円)

教育活動収支						
科 目	2022年度予算	2022年度実績				
	学院合計 (法人本部含)	学院合計 (法人本部含)	高 校 (全日+通信)	中 学	小学校	幼稚園
事業活動収入の部 合計	1,150,773	1,167,714	574,119	195,140	281,573	110,534
(学生生徒納付金収入)	639,478	652,138	287,573	122,388	192,854	49,324
(手数料)	7,288	7,212	3,842	2,040	1,080	250
(寄付金)	3,500	6,699	2,619	525	769	625
(経常費等補助金補助金)	453,910	449,854	275,891	50,830	72,837	50,297
(付随事業収入)	10,500	10,813	836	182	0	7,525
(雑収入)	36,097	40,998	3,358	19,175	14,033	2,513
事業活動支出の部 合計	1,383,569	1,407,431	658,571	250,266	345,565	129,605
(人件費)	1,034,593	1,041,219	507,185	199,221	230,277	97,088
(教育研究経費)	308,912	322,748	134,942	46,439	113,167	28,200
(管理経費)	40,064	42,665	16,293	3,971	2,121	4,303
(徴収不能額等)	0	799	151	635	0	14
教育活動収支差額	-232,796	-239,717	-84,452	-55,126	-63,992	-19,071

教育活動外収支						
科 目	2022年度予算	2022年度実績				
	学院合計 (法人本部含)	学院合計 (法人本部含)	高 校 (全日+通信)	中 学	小学校	幼稚園
事業活動収入の部 合計	30	6	0	0	0	0
(受取利息配当金)	30	6	0	0	0	0
事業活動支出の部 合計	800	1,406	0	0	0	0
(借入金等利息)	800	1,406	0	0	0	0
教育活動外収支差額	-770	-1,400	0	0	0	0

特別収支						
科 目	2022年度予算	2022年度実績				
	学院合計 (法人本部含)	学院合計 (法人本部含)	高 校 (全日+通信)	中 学	小学校	幼稚園
事業活動収入の部 合計	3,090	8,933	8,254	0	640	39
(施設設備寄付金)	0	8,790	8,150	0	640	0
(現物寄付金 他)	3,090	143	104	0	0	39
事業活動支出の部 合計	0	104	104	0	0	0
(資産処分差額・過年度修正等)	0	104	104	0	0	0
特別支差額	3,090	8,829	8,150	0	640	39

収支差額						
科 目	2022年度予算	2022年度実績				
	学院合計 (法人本部含)	学院合計 (法人本部含)	高 校 (全日+通信)	中 学	小学校	幼稚園
予備費	0	0	0	0	0	0
基本金組入前当年度収支差額	-230,476	-232,288	-76,302	-55,126	-63,352	-19,032
基本金組入額合計	-30,563	-63,844	-30,658	-16,095	-16,618	-473
当年度収支差額	-261,039	-296,132	-106,960	-71,221	-79,970	-19,505
前年度繰越収支差額	-2,520,000	-2,616,085				
基本金取崩額	0	0				
翌年度繰越収支差額	-2,781,039	-2,912,217				

◆ 貸借対照表

2023年 3月31日

学校法人賢明学院
(単位:千円)

資産の部

科 目	2022年度末	2021年度末	増 減
固定資産	3,398,248	3,652,875	-254,627
有形固定資産	3,268,703	3,341,589	-72,886
土 地	951,909	951,909	0
建 物	2,186,818	2,258,730	-71,912
構 築 物	62,746	63,338	-592
教育研究用機器備品	36,890	38,458	-1,568
管理用機器備品	664	995	-331
図 書	29,676	28,159	1,517
車 両	0	0	0
特定資産	126,294	306,453	-180,159
退職給与引当特定資産	0	100,000	-100,000
減価償却引当特定資産	50,012	50,011	1
期成会事業積立特定資産	23,044	103,383	-80,339
その他の引当特定資産	53,238	53,059	179
その他の固定資産	3,251	4,833	-1,582
ソフトウェア	1,973	3,505	-1,532
長期貸付金	278	328	-50
出 資 金	1,000	1,000	0
流動資産	126,737	87,061	39,676
現 金 預 金	83,645	28,030	55,615
未 収 入 金	41,958	56,981	-15,023
貯 蔵 品	0	0	0
立 替 金	603	1,443	-840
前 払 金	531	607	-76
資産の部合計	3,524,985	3,739,936	-214,951

負債の部

科 目	2022年度末	2021年度末	増 減
固定負債	134,243	125,240	9,003
長期借入金	52,250	25,180	27,070
退職給与引当金	71,324	73,976	-2,652
長期未払金	10,669	26,084	-15,415
流動負債	380,449	372,115	8,334
短期借入金	215,840	159,480	56,360
未 払 金	65,590	82,771	-17,181
前 受 金	51,520	59,578	-8,058
預 り 金	47,499	70,286	-22,787
負債の部合計	514,692	497,355	17,337

純資産の部

科 目	2022年度末	2021年度末	増 減
基本金	5,922,510	5,858,665	63,845
第1号 基本金	5,803,510	5,739,665	63,845
第4号 基本金	119,000	119,000	0
繰越収支差額	-2,912,217	-2,616,084	-296,133
翌年度繰越収支差額	-2,912,217	-2,616,084	-296,133
純資産の部合計	3,010,293	3,242,581	-232,288

科 目	2022年度末	2021年度末	増 減
負債の部及び純資産の部合計	3,524,985	3,739,936	-214,951

◆ 2023年3月31日 財産目録

(単位:千円)

科 目	財 産 名	金 額
土 地	校 地	951,909
建 物	校 舎	2,186,818
構 築 物	外 構 プール 人工芝等	62,746
教育研究用機器備品	机・椅子・黒板などの教育用備品	36,890
管理用機器備品	業務管理用パソコン等	664
図 書	教育用図書	29,676
車 両	軽自動車2台 スクールバス1台	0
退職給与引当特定資産	銀行預金	0
減価償却引当特定資産	銀行預金	50,012
期成会事業積立特定資産	銀行預金	23,044
その他の引当特定資産	銀行預金	53,238
建設仮勘定	建設途中の建物等に関する支出	0
ソフトウェア	各種システム	1,973
長期貸付金	奨学金貸付	278
出 資 金	子会社への出資金	1,000
基 本 財 産 計		3,398,248
現 金 預 金	銀行預金	83,645
未 収 入 金	私学総連合会退職金事業部より退職金収入	41,958
その他流動資産	立替金・前払金等	1,133
運 用 財 産 計		126,736
資 産 の 部 合 計		3,524,984
長 期 借 入 金		52,250
退職給与引当金		71,324
長 期 未 払 金	1年を超えるリース債務残高	10,668
固 定 負 債 計		134,242
短 期 借 入 金	1年以内に返済する短期資金	215,840
未 払 金	期末未払金	65,590
前 受 金	入学金前受金等	51,520
預 かり 金	積立金等	47,499
流 動 負 債 計		380,449
負 債 の 部 合 計		514,691
差 引 純 資 産		3,010,293

◆2022年度 学校法人の財務分析

項 目	計 算 式	2019年	2020年	2021年	2022年	概要
人件費依存率	人件費÷(生徒納付金) ※大阪府支援補助金(高校無償化の為に補助金)は、生徒納付金から控除されている。	159.8%	159.6%	165.7%	159.7%	人件費は、納付金を超えない事が望ましい。 2021年度は数値が大きく増加したが、2022年度から減少に転じており、2023年度には140%台に低下すると見込んでいる。
人件費比率 (退職関係除く)	人件費(退職関係除く) ÷事業活動収入	81.5%	88.5%	85.8%	85.1%	退職金を除く人件費比率は、2020年度もピークに下落している。2023年度以降も人件費の下落は続く一方、収入の増加は見込まれるので、人件費比率はしだいに適正水準に近づいていくと見込んでいる。
減価償却比率	減価償却額÷事業活動支出	9.4%	9.5%	8.0%	8.1%	固定資産への資金投下は、平均を若干下回る。 資金収支が改善と同時に、一部施設の更新等を計画している。
補助金比率	補助金÷事業活動収入	40.1%	39.7%	38.9%	38.2%	幼稚園の加配教員等に関する補助金が大きく減少したため、全体の補助金比率が低下した。幼稚園補助金については今後も減少が見込まれるので、抜本的な改革を検討中である。
教育研究経費比率	教育研究経費÷事業活動収入	24.5%	23.7%	24.1%	27.4%	収支の均衡に支障をきたさない程度で高く保つ必要がある。2022年度は、育休取得者の代替教職員等を派遣職員で補填したことによって業務委託費等がかさみ、比率は3ポイント以上上昇した。
固定比率	固定資産÷(基本金+消費収支差額合計)	105.6%	110.0%	113.0%	112.9%	固定資産に投下する資金は、自己資金を充てるべきである。今期は固定資産総額が純財産総額を上回り、投資が超過した状態である。
固定長期適合率	固定資産÷(固定負債+基本金+消費収支差額合計)	91.8%	105.0%	108.0%	108.1%	近年上昇が続いてきたが、固定資産への投資抑制によって上昇が鈍化している。
流動比率	流動資産÷流動負債	79.6%	35.8%	23.4%	33.3%	年度末資金を短期借入によって調達しているため、流動比率が低い。年初資金は昨年度乃三倍近くに増加しているため、次年度流動比率は上昇が見込まれる。
総負債比率	負債合計÷資産合計	9.8%	11.6%	13.3%	14.6%	低いほうが望ましい。長期借入金によって数値が若干上昇しているが、平均に比べて負債比率は低い。
前受金保有率	現金預金÷前受金	328.4%	156.8%	47.0%	162.4%	この比率が100%を下回らないことが望ましい。2021年度は資金調達時期の関係から、一時的に手元資金が減少したため保有比率が下がったが、2022年度は年度末時点で適正額を保有している。
退職給与引当率	退職給与引当特定預金÷退職給与引当金	103.0%	125.9%	135.2%	0.0%	支払義務のある退職金に対し、どのくらい資金を保有しているかを示す。一時的な資金使途により、年度末に急遽取崩をおこなったため、保有率が0となったが、4月に1億円の再積立を行っているため、4月時点の引当率は140.2%となっている。
事業活動収支比率	事業活動支出÷事業活動収入	110.6%	115.5%	117.7%	119.7%	収支が均衡する100%前後が望ましい。近年は均衡点を10ポイント以上超過しているため、収入増加と支出の減少によって100%に近づける計画である。

監 査 報 告 書

令和5年5月23日

学校法人賢明学院

理事会 御中

評議員会 御中

学校法人賢明学院

監 事

板戸 史朗 

監 事

場本 修志 

私たちは、私立学校法第37条第3項及び学校法人賢明学院寄附行為第16条の規定に基づき、学校法人賢明学院の2022年度(2022年4月1日から2023年3月31日まで)の業務若しくは財産の状況又は理事の業務執行の状況について監査を行いました。

私たちは監査に当たり、理事会及び評議員会に出席し、理事等から業務の報告を聴取するなど、必要と思われる監査手続を実施しました。

監査の結果、学校法人賢明学院の業務に関する決定及び執行並びに理事の業務執行は適切であり、計算書類並びに財産目録は、会計帳簿の記載と合致し、その収支及び財産の状況を正しく示しており、学校法人の業務若しくは財産又は理事の業務執行に関する不正の行為、又は、法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実はないものと認めました。

以 上